



岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

令和2年8月14日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2020年第32週
(8/3~8/9)

7月報合併号

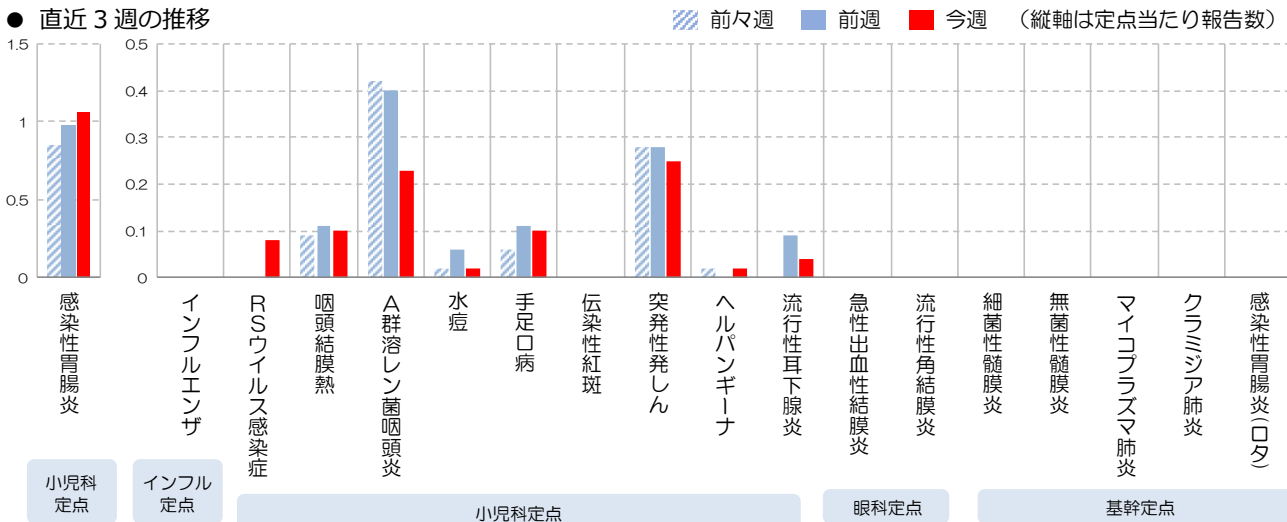
今週の主な動向

○7月31日に岐阜県第2波非常事態宣言が発出されましたが、新型コロナウイルス感染症陽性確定者は連日県内にて確認されています。密閉・密集・密接の条件を避けること、マスクを着用すること及び手洗いの習慣化を基本に、多人数での会食を控えるなど感染リスクを避けて慎重な行動をとることが重要です（下記参照）。

定点把握対象疾患

<インフルエンザ定点：87か所、小児科定点：53か所、眼科定点：11か所、基幹定点：5か所>

● 直近3週の推移



全数把握対象疾患

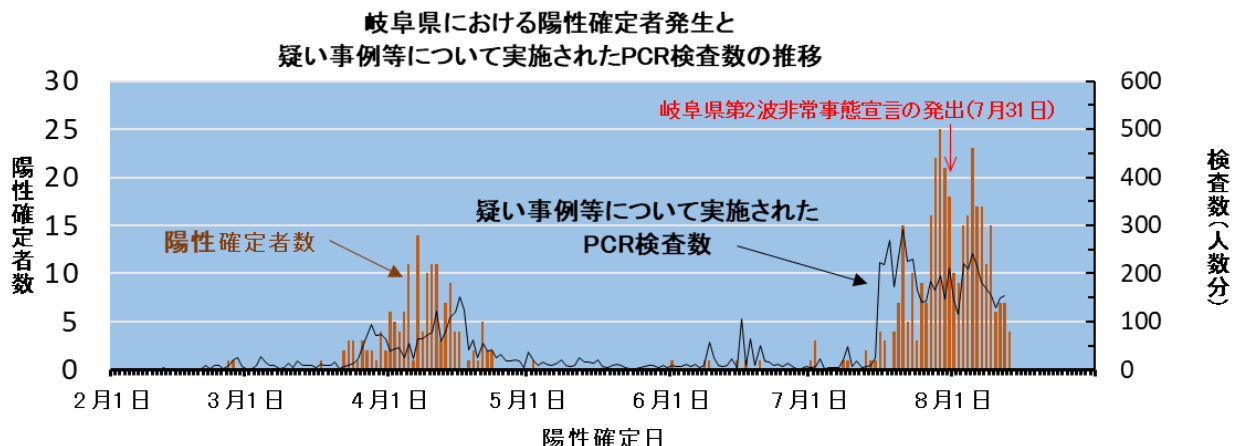
● 新規報告分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 7 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：レジオネラ症 3 例

5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例
 指定感染症：114 例（8/3~8/9（陽性確定日による集計））

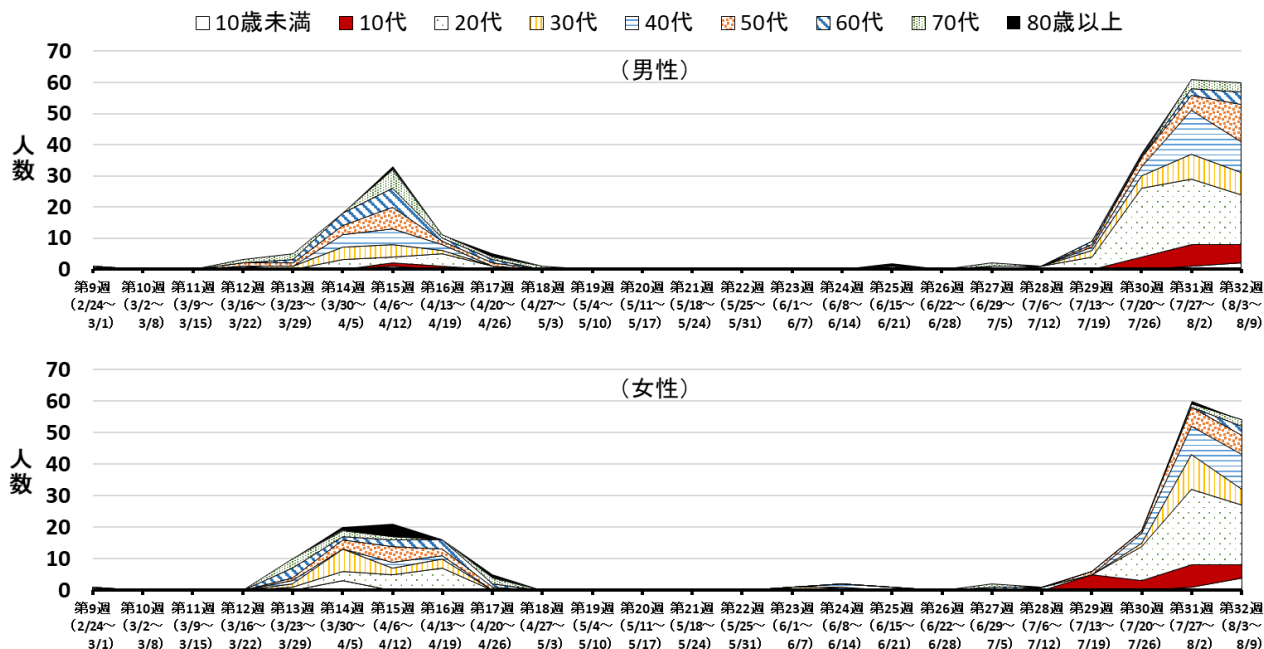
トピック：新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症について、県内で確認された492症例（県外の居住者8名を含む）の発生と、疑い事例等について実施されたPCR検査数の推移をグラフ化すると下記ようになります。（8月13日18:00現在のデータによる）。



7月31日に岐阜県は第2波非常事態宣言を発出しましたが、8月1日以降も1日あたり平均12人の陽性確定者が県内で確認されており、感染者が急増多発するリスクが依然高い状態です。また年代毎に各週の推移をみると（下記グラフ（第32週（8/3～8/9）まで））、男女とも20代以下の感染者の割合が多いことがわかります。現在、近隣他県においても感染者は増加傾向にあることから、日常生活での感染防止対策を再度確認していただくべき状況です。密閉・密集・密接（3密）の条件を避けること、マスクを着用すること、手洗いの習慣化を基本とし、感染拡大エリアとの往來を回避するなど、感染リスクを避けて慎重な行動をとるようお願いいたします。

岐阜県における陽性確定者発生の推移（週別・年代別）



（参考）岐阜県 HP 「新型コロナウイルス感染症【県内の感染動向】について」

https://www.pref.gifu.lg.jp/kinkyu-juyo-joho/shingata_corona_kansendoko.html

（参考）岐阜県 HP 「緊急事態宣言全面解除に係る岐阜県の対応について」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/kinkyu-juyo-joho/gifu-kinkyu-sochi.html>

※ 感染予防と感染拡大防止のための対策として、手洗い、咳エチケットを徹底しましょう。発熱や咳などの症状がある場合は外出を控え、また日常においても不要不急の外出は控えましょう。

これまでのデータから、集団感染が起こりやすいのは以下の条件がそろった時との報告がされています。

1. 密閉空間（換気の悪い密閉空間である）
2. 密集場所（多くの人が密集している）
3. 密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

このことから、感染のリスクを低減させるためには、これら3つの密が重なる条件（3密）を避けることが重要です。

※新型コロナウイルス感染症専門家会議からの提言（5月4日）を踏まえ、厚生労働省は感染拡大の第2波を予防しつつ日常生活を送るために取り入れていただきたい「新しい生活様式」の実践例を公表しました。（「新しい生活様式」について詳しくはこちらをご確認ください）

・「新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を公表しました」厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html

今月の主な動向

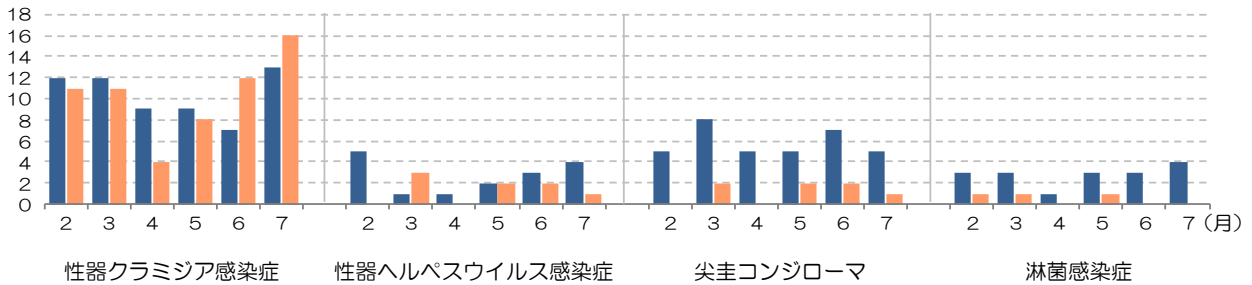
・性感染症（STD 定点）・薬剤耐性菌感染症（基幹定点）：目立った動向の変化はみられません。

定点把握対象疾患

性感染症 <STD 定点：15 か所>

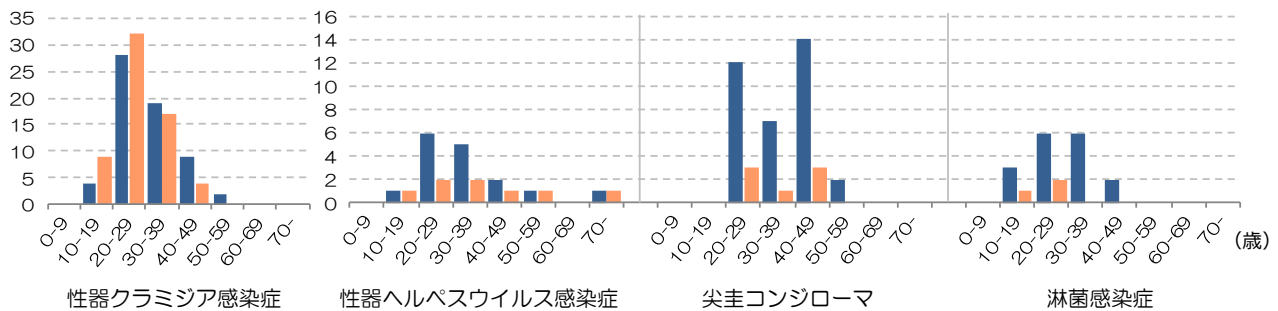
● 直近6ヶ月の推移

■ 男 ■ 女（縦軸は報告数）



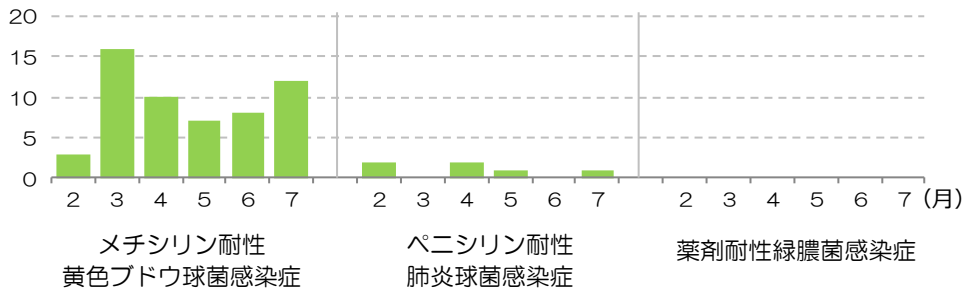
● 年齢階級別患者報告数（直近6ヶ月累計）

■ 男 ■ 女（縦軸は報告数）



薬剤耐性菌感染症 <基幹定点：5 か所>

● 直近6ヶ月の推移



病原体検出情報

● 医療機関から提出された検体の病原体検出状況（8月9日現在結果判明分（新規検出分）：月は採取月を示す）

臨床診断名	病原体名（遺伝子検出を含む）	6月	7月
細菌性髄膜炎	<i>Streptococcus agalactiae</i> B 群		1
腸管出血性大腸菌感染症	<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT2	1	
	<i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT1&2		3
	<i>Escherichia coli</i> OUT:H- VT2		1
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	<i>Enterobacter cloacae</i> IMP-1型メタロ-β-ラクタマーゼ産生性	1	
	<i>Klebsiella aerogenes</i> カルバペネマーゼ非産生	2	